



今こそ、正しい判断・冷静な行動 温かい心が創りだすもの



心ない言葉やうわさ

新型コロナウイルス感染症が広がり、私たちの日常生活は一変しました。店舗からマスクがなくなり、学校が、臨時休業になりました。観光や飲食など、家族や仲間と楽しく過ごす外出ができなくなりました。そればかりか、生活の基盤である仕事にも、大きな影響が出ています。重い空気がのしかかり、今、誰もが息苦しさを感じています。しかし、命と健康を守ることを最優先に考え、みんなで苦しい状況を乗り越えようと、力を合わせています。

このような日常生活で、心が痛くなるニュースが飛び込んできました。

岐阜市のある病院で、医療崩壊が起きているという内容のチェーンメールが、SNSで拡散されたという記事です。事実ではありませんでした。しかし、病院には問い合わせが殺到し、医療業務に支障を来しました。さらに、「あの子のお母さんは看護師だからいっしょに遊んではいけない」と言われた看護師の言

葉も載っていました。

「新型コロナウイルス感染症が、〇〇という施設で発生したらしい。」「〇〇さんが感染したのではないか。」「〇〇さんは、病院に関係する仕事だからうつっているかもしれない。」など、心ないうわさや言葉が、広がっています。そして、うわさされた人の生活を間違いなく脅かしています。人権を侵害しています。

なぜ広がる?

これまでの歴史をみると、災害や疫病の流行があると、うわさや流言が広まるのがたびたびありました。人々が不安になり、根拠がないとわかっていても信じてしまう傾向があるからです。今、まさに私たちは、そうした状況に直面しています。

「怖い」という思いが、必要以上に「知りたい」という気持ち強くします。そして、自分や家族を危険から遠ざけたいと行動してしまいがちになるのです。興味本位で知りたい。知ったことを広めたいという心理も働きます。他人事としてとらえてい

るので、自分が広めたことが、誰かを傷つけているということに思いが及びません。

これらの気持ちや心の働きは、誰もがもちがちなものです。陥りやすい心理であると考えられます。でも、そのことが、人を辛い思いにさせていることや人権の侵害につながることを忘れてはいけないと思います。現代は、SNSやHPで、一度に多くの人へと伝わるため、特に情報を発信するときは注意が必要です。

よい話は広げる!

心ない言葉やうわさに惑わされないためには、何が大切でしょうか。

まず、事実かどうか、確かめることが大切です。「本当に正しい情報なのだろうか」と、一歩立ち止まって考えることです。また、自分が発信した情報が、思わぬ所で一人歩きをし、誰かを傷つけたりしていないかと想像を巡らせることも大切です。今、不安な気持ちは共通しています。でも、相手を大切にす

る気持ちも、みんなが持っているはず。次のようなよい話が、町内でありました。

マスクをしていないお客さんが来店されました。どこへ行っても購入できないと、困っていました。それを聞いた従業員は、店頭に備えてあった一枚のマスクを手に取り、「どうぞ、お使いください。」と渡したそうです。何日かして、再びそのお客さんが来店されました。お客様は、前回のマスクのお礼に続けて、こんな話をされました。

「その後、運よくマスクが購入できました。私はあなたからのマスクにとても感謝していたので、私も、困っている人を見かけたとき、分けてあげることができました。」

人を大事にする行動や人権を大切に思う思いは、こんな時だからこそ、心に残ります。よい話とその心根を広め、苦難を乗り越え、人が大切にされる社会をつくりたいと考えます。